

令和6年5月29日

令和6年度病虫害防除技術情報（第3号）

和歌山県農作物病虫害防除所

果樹カメムシ類の発生に引き続き注意してください

果樹カメムシ類の発生が多く、4月25日付けで令和6年度病虫害発生予察注意報（第1号）を発表したところですが、依然として誘殺数が多い状況が続いています。ほ場をよく観察し、発生状況に応じて防除を行いきましょう。

1. 病虫害名：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）
2. 対象作物：ウメ、カキ、モモ、スモモ、キウイフルーツ、ナシ、ブドウなど
3. 対象地域：県内全域
4. 発生量：多
5. 加害期間：4月下旬～
6. 発生状況
 - 1) 紀の川市粉河の予察灯における5月1～25日の誘殺数はチャバネアオカメムシが4,269頭（平年172頭）、ツヤアオカメムシが1,321頭（同115頭）でした（図1）。
 - 2) 有田川町奥の予察灯における5月1～25日（5月1日は欠測）の誘殺数はチャバネアオカメムシが805頭（平年110頭）、ツヤアオカメムシが1,035頭（同334頭）でした（図2）。
 - 3) みなべ町東本庄の予察灯における5月1～25日の誘殺数はチャバネアオカメムシが2,478頭（平年297頭）、ツヤアオカメムシが6,200頭（同1,839頭）でした（図3）。
 - 4) 各地域の多くの果樹ほ場で、果樹カメムシ類の飛来や被害が認められています。
7. 防除上の注意事項
 - 1) 果樹カメムシ類の飛来量はほ場間差が大きく、特に山林隣接ほ場では被害が出やすい傾向があります。

- 2) ウメでは収穫期の防除となるので、薬剤の使用時期（収穫前日数）に注意してください。使用時期が「収穫前日まで」となっている薬剤の場合、収穫は散布から24時間以上経過してから開始してください。
- 3) カキでは「富有」で被害が大きいため、特に注意が必要です。
- 4) モモでは早めに袋がけを行いましょう。ただし、袋をかけても果実が肥大して袋に密着すると袋の上から吸汁されることがあるので注意が必要です。
- 5) 必要以上の薬剤散布はハダニ類やカイガラムシ類の多発を招くので控えてください。
- 6) 今後の発生動向については、農林水産部鳥獣害対策課のウェブページ内農作物病害虫防除所の果樹カメムシ情報
[（https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/072000/d00216368.html）](https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/072000/d00216368.html) や各地域の振興局、JA 等の情報を参考にしてください。
- 7) 防除薬剤は最新の登録情報（農林水産省 農薬登録情報提供システム <https://pesticide.maff.go.jp>）を参照し、適正に使用してください。特に、収穫が近い場合は収穫前日数に注意しましょう。

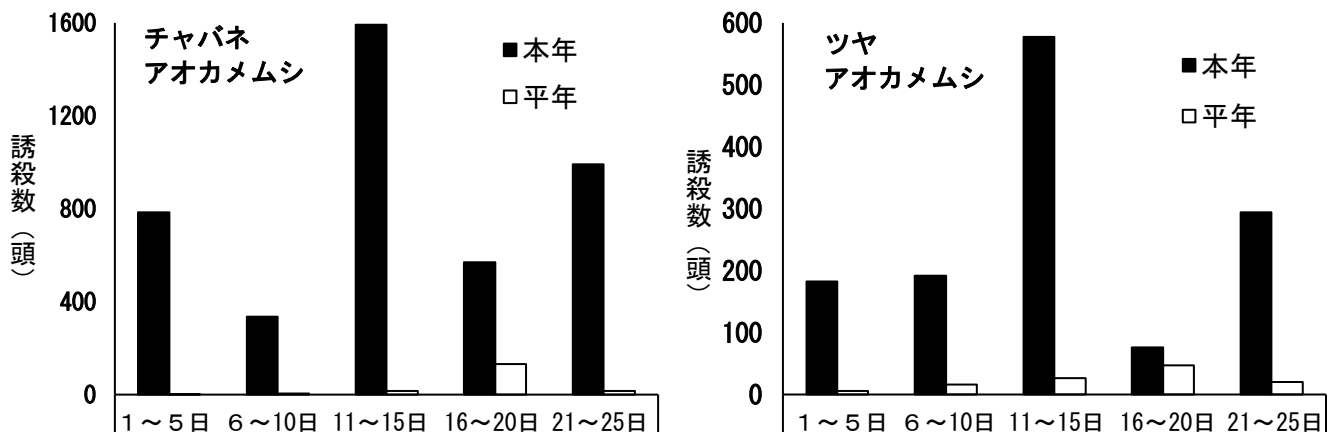
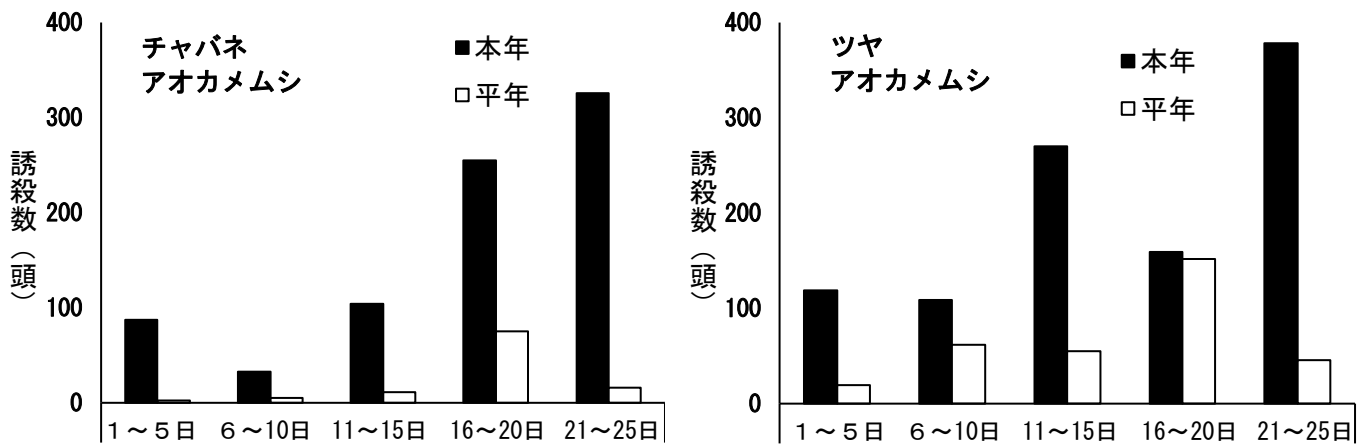


図1 紀の川市粉河の予察灯における果樹カメムシ類の誘殺消長（令和6年5月）



※1~5日は1日が欠測のため、2~5日の4日分の値

図2 有田川町奥の予察灯における果樹カメムシ類の誘殺消長（令和6年5月）

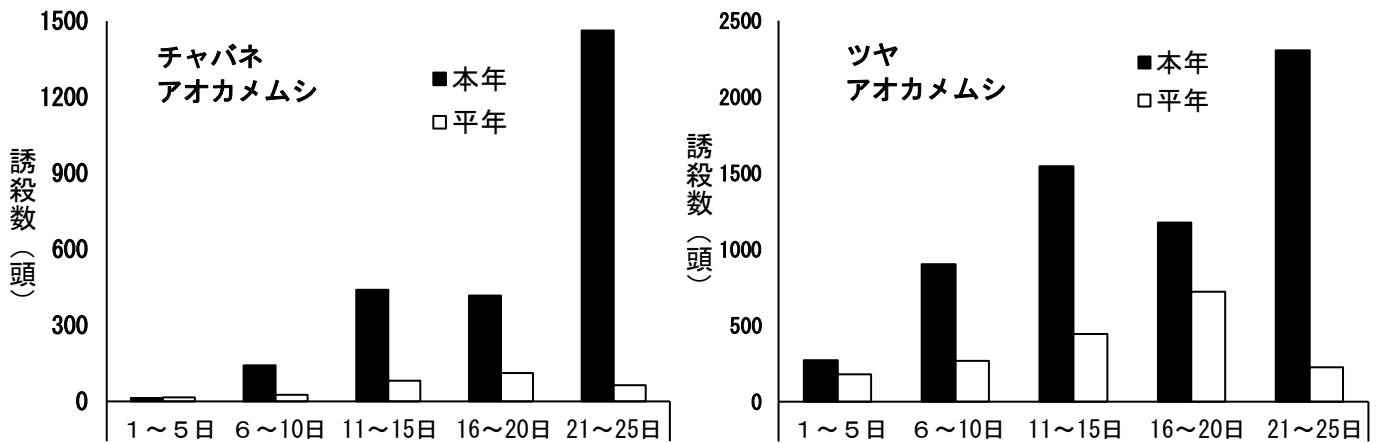


図3 みなべ町東本庄の予察灯における果樹カメムシ類の誘殺消長（令和6年5月）

和歌山県農作物病虫害防除所 紀の川駐在 (0736-73-2274)
 有田川駐在 (0737-52-4320)
 みなべ駐在 (0739-74-3780)